

表 - 3 植 生 別 生 長 量 調 査

プロット数	樹種	樹高(m) 根本径(mm)	1	11	21	31	41	51	101	151	201	251	301	351	401	451	計		
			~ 10	~ 20	~ 30	~ 40	~ 50	~ 100	~ 150	~ 200	~ 250	~ 300	~ 350	~ 400	~ 450	~ 500			
30	ス	1~5	7	28	13	6	4	2	1									61	
		6~10			3	7	12	8	11	1									42
		11~20				2	8	8	5	3									26
		21~30					2	3	3	3	1								12
		31~40					1	1	2	2	3	1							10
		41~50									1		1	1					3
		51~60													1				1
	計	7	28	16	15	27	22	22	10	4	2	1	1	0	0	0	0	155	
	ツ	1~5	6	3	2	1	1												13
		6~10					1												1
		11~20																	0
		21~30																	0
		31~40																	0
		41~50																	0
		51~60																	0
	計	6	3	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	
	ガ	1~5	3	3	5	3	1	2											17
		6~10			1	2	2	4	3	1									13
		11~20					3	2	2	13	3								23
		21~30							1	5	3	1							10
		31~40								1		1							2
		41~50																	0
		51~60																	0
	計	3	3	6	5	6	8	6	20	6	2	0	0	0	0	0	0	65	
	ハイノキ	1~5																	0
		6~10								1									1
		11~20									8	6	3						17
		21~30									3	7	9	1					20
		31~40										2	2	1					5
		41~50											1						2
51~60														1				0	
計	0	0	0	0	0	0	0	1	11	15	15	2	1	0	0	0	45		
その他広	1~5	18	11	8	5	7	3	1										53	
	6~10							9	11	16	5							41	
	11~20							5	19	31	19	2						76	
	21~30								5	13	18	9						45	
	31~40									1	5	9	3					18	
	41~50										2	3	1					6	
	51~60																	0	
計	18	11	8	5	7	17	36	61	49	23	4	0	0	0	0	0	239		

表-4 種子豊凶調査

	比較対照林班	試験地林班
	平瀬国有林 11こ林小班	平瀬国有林 11る林小班
球果の発生確認	あり	あり
球果の発生状況	100%	70%

平成12年度 技術開発実施報告

様式 2

課 題 目	8 群状択伐によるヤクスギの施業方法について	継 続 ・ 新 規 ・ 完 了	担 当	流域管理調整官 栗生森林官	開発 箇所	平瀬 国有林 9る 林小班			
的	ヤクスギの特性に合致した天然林施業体系の確立	開発期間	昭和60年 ~ 平成 12年						
年度別実施経過	12 年度 実施報告		13 年度 実施計画						
	実施内容	備 考 (評価及び普及指導)		な し					
1 試験地設定(昭和60年度)	植生調査 別表 1のとおり 稚樹発生調査 別表 2のとおり 生長量調査 別表 3のとおり 降水量調査表 別紙4のとおり	平成8年～平成10年まで開発期間を延期 更に、平成11年度～平成12年度まで延期							
(1) 場所 平瀬国有林9る林小班	※表の差し込み /			経 費 科 目					
(2) 面積 区域面積 12.64ha				物 品 名 数量 単価 金額					
(3) 林齢 195年生				内 費			フィルム(12枚取) 20 フィルム(24枚取) 20 計		
(4) 設定									
ア 群状択伐群面積 7.67ha (3回の回帰年で 群状を択伐, 第1回は1.77ha 10箇所の伐区を 伐採した。)				人 件 費			基職 () 臨時 人		
イ 保残群面積 4.65ha									
2 調査事項				訳 費					
(1) 架線, 集造材工程調査(61年度)									
(2) 稚樹発生調査				計					
10伐区内に1m×1m調査プロットを各3箇所 計30箇所設定 (61～6年度 10～12年度)									
(3) 種子豊凶調査 (60年度～2年度, 6～8年度 10～12年度)	計								
(4) 相対照度調査 (3～8年度 10～12年度)							計		
(5) 稚樹の樹種別樹高調査 (4～8年度 10～12年度)	計								
(6) 植生別発生量調査 (7～8年度 10～12年度)							計		
(7) 植生別生長量調査 (7～8年度 10～12年度)	計								
3 保育							計		
刈出し(除伐) (7年度)	計								

別紙1

植生調査表 (単位:%)

調査記番	樹							種		計%
	ハイノキ	シキミ	ヒサカキ	タラノキ	イヌカヤ	イチゴ類	スギ	コケ類	裸地枝条	
1	80		1	1		5			13	100
2	70		1			3			26	100
3	80	2		1		2			15	100
4	10								80	100
5	36	1		1		1	1	10	60	100
6	30	1	2	1		1			65	100
7	40								60	100
8	20	1				1			78	100
9	30				2				68	100
10	15							5	80	100

別紙2

スギ稚樹発生状況

(単位:本)

年度\試験地	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
62	6	1	5	5	10	3	0	1	0	0	31
63	26	27	6	124	46	49	23	19	22	10	352
増減	20	26	1	119	36	46	23	18	22	10	321

別紙3

スギ生長量調査表

番号	D	H	番号	D	H
1	2.7	3.0	24	11.0	6.1
2	0.8	2.0	25	1.6	2.0
3	1.2	2.4	26	1.4	1.8
4	2.0	2.9	27	2.2	3.4
5	1.0	1.8	28	17.4	9.5
6	1.2	1.7	29	0.4	1.6
7	1.0	1.9	30	12.4	8.8
8	12.2	5.6	31	4.0	3.4
9	4.4	3.9	32	4.2	5.1
10	2.8	2.5	33	2.2	2.4
11	0.9	2.5	34	4.0	3.0
12	4.2	4.5	35	1.2	3.0
13	1.0	2.2	36	1.0	1.3
14	1.0	1.1	37	0.9	1.2
15	2.9	3.9	38	0.3	1.4
16	1.4	2.7	39	0.8	2.0
17	1.0	2.0	40	2.2	4.2
18	0.4	1.7	41	0.3	1.2
19	2.8	2.9	42	0.3	1.2
20	4.2	3.2	43	0.4	1.3
21	0.8	2.6	44	1.3	2.6
22	1.2	1.2	45	4.2	5.1
23	0.2	1.6	46	2.4	3.6

D: 胸高直径(cm)

H: 樹高(m)

別紙4

降水量調査表

(単位:mm)

年\場所	大川	淀川	小杉谷
8	3,710	8,484	5,561
9	7,174	6,867	6,584
10	6,394	8,671	8,446
11	5,760	11,718	10,216